

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟 役員選任「立候補意思表明書」

2019年 4月25日 氏名 大森健一

<b>【JHF 活動履歴】</b>
1985年4月 早稲田大学ハンググライダークラブに入部してハンググライダーの練習を始める
1985年7月～1989年3月 ㈱ファルホーク SET スクールの指導員補佐
1997年8月～現在 信濃平エリアで Fream ハンググライダースクールを開講

<b>【JHF 定款への理解】</b> (どれかひとつをマルで囲んでください) 熟知している・ <u>ある程度理解している</u> 一通り目を通した・これから目を通す
--

<b>【立候補意思表明】</b> 公益社団法人 JHF の活動に関するご自身の考え。 その際に下記2点を含めて下さい。
(1) 今後の JHF が活動していくべきと考える事
(2) ご自分が理事として実践していきたい事
(1) 私は大学でハンググライダーサークルに入り、そこからハンググライダーを始めました。 その頃は、自分たちでタイヤを付けずに斜面講習をし、怪我をする者がよくいました。 しかし、いつしかタイヤを付けて講習をするようになり、今はプロのスクールに入っの講習 を受けるようになりました。
これは、フライヤーに、「安全に飛ぶ」という意識が定着し、改善している表れであると思います。 しかし、まだ防げるはずであった事故が起こっているのが現実です。
JHF が中心となり、フライヤー自身がより早く新しい安全対策をとる意識が持てるようなムーブ メントを起こしていく事が必要だと考えます。
(2) 私は、税理士として他の公益法人の会計にも携わっております。 フライヤー人口の減少により会費が少なくなるなかで、会員から預かった会費が無駄なく、健全 にかつ有効にそれぞれの事業で使われているのかを確認するとともに、 フライヤーがより安全に長く飛び続けていかれる環境を整えるお手伝いをさせていただきたい と考えております。

※この立候補意思表明書は JHF ホームページに掲載し一般にも公開されます。

時数制限はありません、また必要に応じて用紙を増やして下さい。

この用紙をプリントアウトし手書きでの提出、または上記項目を漏れなく網羅してテキスト  
ファイル(.txt)またはワードファイル(.doc)で提出することも可とします。詳しくは「立  
候補意思表明書の提出について」をお読みください。